

# CTS/TX シリーズ コーデックの Manufacturer Installed Certificate ( MIC ) に関する問題のトラブルシューティング ガイド

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[MIC のトラブルシューティング](#)

[MIC がインストールされているかどうか](#)

[MIC がインストールされていない](#)

[MIC がインストールされている](#)

[リカバリ手順](#)

[Compact Flash のトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco TelePresence System ( CTS および TX シリーズ ) で、製造元でインストールされる証明書 ( MIC ) のトラブルシューティングを行う方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco TelePresence System、CTS または TX シリーズ
- Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

X.509v3 デジタル証明書は、Cisco Certificate Authority により署名されている MIC であり、Cisco Manufacturing によりサポートされている電話機にインストールされます。この MIC は、ローカルで有効な証明書（LSC）が電話機にインストールされている場合に、認証局プロキシ機能（CAPF）への認証メカニズムとして使用されます。

MIC は認証で使用されるため、MIC エラーが発生すると、CTS/TX シリーズ エンドポイントと CUCM 間のセキュア通信が中断される可能性があります。最も一般的な症状は、CUCM にセキュアモードで登録できないことです。最も一般的な原因は次のとおりです。

1. 製造時に不適切な MIC がインストールされた
2. MIC が欠落または破損している
3. Compact Flash の問題が発生している

ほとんどの MIC エラーは、原因に関係なく、起動中に次のメッセージを sysop ログに出力します。

```
2011-10-07 16:35:10: WARN
*****
WARNING= No valid Manufacturing Installed Certificate found Secure mode operation
may not be possible
*****
```

sysop ログは管理 GUI インターフェイスで表示できます。また、次のような証明書エラーが大量に sysop ログに記録されることもあります。

```
2011-10-07 16:50:11: ERROR Unable to load Certificate Authority file
/nv/security/mic/ca/root-pem.crt
または
```

```
2011-10-07 16:50:12: ERROR No certificates, unable to make secure calls
```

## MIC のトラブルシューティング

MIC がインストールされているかどうかを確認し、インストールされている場合はどの MIC がインストールされているかを確認します。

## MIC がインストールされているかどうか

コマンドライン インターフェイス ( CLI ) コマンド **show hardware system** の出力を確認します。

```
admin:show hardware system
CEFDC_Ver : 3.4.0
Mfg_Installed_Cert : CN=CTS-CODEC-SING-G1-SEP1CDF0F76F57
Locally_Significant_Cert : CN=SEP1CDF0F76F579,OU=TSG,O=CISCO,C=USS
CF_Model : WDC SSD-C51M-443
```

また、ログをダウンロードするときに表示できる **showsysinfo.log** を調べることもできます。

```
Mfg_Installed_Cert=INFO:No certificate found
```

## MIC がインストールされていない

MIC が見つからない場合、ご使用の製品とソフトウェアに Field Notice 63636 「[Manufacturer Installed Certificates \(MICs\) Deleted During Install of Cisco TelePresence System Software, Versions 1.9\(X\) and Later](#)」 が該当する場合はこの Field Notice を読んで適用してください。

MIC が見つからず、この Field Notice が該当しない場合は、「[リカバリ手順](#)」を使用してください。

## MIC がインストールされている

MIC が検出された場合は、Mfg\_Installed\_Cert で SEP から始まるマシン名部分を、**show tech system** CLI コマンドの出力にリストされるマシン名と比較してください。次の例では、これらの名前が一致していません。

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

名前が一致しない場合は、「[リカバリ手順](#)」を使用してください。

## リカバリ手順

この手順では、システムを出荷時設定にリセットする方法を説明します。

1. セキュア シェル ( SSH ) を使用して admin アカウントにアクセスします。

注: ステップ 2 の後には、静的ネットワーク構成がすべて消去されます。

2. **utils system factory init** コマンドを入力します。

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

3. 新しく生成された証明書がマシン名と一致していることを確認します。
4. エンドポイントを再設定するため、管理 GUI にログインします。エンドポイントが CUCM に登録されているはずです。

注: 新しい MIC のインストール後に、カメラと音声の調整を行います。

## Compact Flash のトラブルシューティング

破損している Compact Flash ストレージ デバイスが原因で、CUCM にセキュア モードで登録できないことがあります。次に、rc.log に出力される破損ファイルシステムの例を示します。

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

## 関連情報

- [Field Notice : FN - 63636 - 製造者がインストールした証明書 \(MIC\) が Cisco TelePresence システム ソフトウェア バージョン 1.9\(X\) 以降のインストール中に削除される](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)